

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 (B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)	ページ  ( / )
	226		
項目名 蛇 010			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
0724. 12.	Xebi <いない> ( <del>礼文島には蛇の数がいない(重り)で</del> も死んでしまうぞ。)	
0724. 58	nagamusi (宗谷からの木炭の積み荷に入っている)	
0724. 95	hebi ( <u>利尻にいます</u> )	
0861. 48	Xebi <今もつうに>	nagamusi
0990. 97	nagamusi <字音がいうた>	Xebi
1706. 82	たがムシ <古> (n:)	ハヒ
1715. 63	hebi <小川にはいる>	
2619. 28	ヘンペ <こういう人もある>	ハヒ
2751. 10	たがムシ <古>	ハヒ
2761. 44	gembi <古>	Fembi

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ (2)
226		(B 除いた共通語)	
項目名 蛇 010		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
2783. 48	Fembi naya <古.子> <u>〈子に3(か)3(き)3(め)に naya 3 語〉</u>	
2791. 15	<del>Fembi</del> . nagamusi <古.老>	Gembi.
2793. 00	nagamusi <信仰に関係あるとき使う>	Gembi
2793. 51	nagamusi <炭焼で山へ行くと書く>	Gembi
2795. 66	nagamusi <古. 漁業用語>	Gembi.
3730. 43	hēbe (誤記にあり)	"
3736. 03	たかゝス (古)	he
3751. 81	Mebi <del>合唇</del> 合唇徴か	
3757. 09	nagamusi <古>	he=bi
3760. 58	Mībi (u[ci][e]の中間母音の中間的発音 [ɨ]に近く聞える。かひかに唇音がらう)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	226		
項目名		B 除いた共通語	(3)
蛇 018		C 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
3765. 03	へヒ" (「へ」が「ヒ」に近い)	
3792. 33	nagamüsi (とう人あり)	Febi
3795. 19	へヒ" (Febiとき=2匹)	
3795. 86	トカムス (春のは3月まで後に4月まで)	へヒ"
4599. 31	gibi (またはhibi?)	
4609. 54	φẽb̃l <上>	φpẽb̃l
4628. 28	hyebi [先人はφebiと云う] (同階の父の 名前=子)	
4653. 02	Febi <多>	ge:bi
4653. 84	ge:bi ge'biと発音する者が多い	
4675. 45	[hembi] 同席者 丸山清元氏・西浦原新納村に生育し 東京美術学校卒業後、高等学校に20年余勤め した人。	hebi.

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	226		
項目名		〔B 除いた共通語〕	
蛇 010		〔C 除いた特殊語〕	(4)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4684. 77	nagamisi. hembī. (どちらを使う。使用上の差異は不明)	
4685. 72.	nagamusi (上)	hebi
4686. 96	hembī 〈希〉	
4694. 26	hembī 〈老人〉	hebi
4694. 95	hembī 〈子供〉 [長島部落ではhembī]	hebi
4695. 21	hembī 〈古〉	hebi.
4695. 33	hebi 〈老人はnagamusiと言う。〉	
4705. 53	へーヒ" (少くへーと長くなるよ)"	
4711. 42.	hebi ([他]:=217子居の"まめ"は綴り)	
4716. 20	nagamusi 〈古〉 〈特になたりのあるよう(2)〉 kultfinawa 〈古〉	he~bi

4695. 19. へーヒ" (heはhiに近")

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は縦密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	226		
項目名		〔B 除いた共通語〕	(5)
蛇 010			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4716. 72.	he=bi 〈古〉	
4736. 63	φe~bi 〈この島にこいる〉	
4750. 32.	たかムス <small>(養蚕の暗期に用いる。へヒと言うと蚕が びっぴりするから。たかムスというように親の交配 はたかとい)</small>	へヒ
4762. 04	たかムス 古	へヒ
4762. 56	he~bi 〈人によっては Gibi という〉	
5462. 29	74ナ7 〈古〉	へヒ
5548. 35	naga 〈いぢことは〉 <small>看るからこいるとこは he:biの来ることとこは</small>	he=bi
5507. 66.	he=bu 〈新〉	hemi
5528. 31	hebu 〈古〉	hebi
5538. 88	へヒミ 〈古〉	へヒ

▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。

▶ その中での情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の〈〉〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 226	A 普通注記	ページ べーじ
項目名 蛇 010		[B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5565. 55	hemi 〈古〉	hebu.
5575. 93.	ge:mi 〈新〉	ge:bu
5576. 96	he:bü 〈古〉	hemi
5579. 79	ヘンベ 〈古〉	ヘンエ"
5586. 70	he:bü (死人のみ使用)	hemj
5589. 30	チカモ 〈諧〉 ヘンエ" 〈稀〉	ヘエ". ヘンエ"
5591. 91	74ナワ 〈古. 死人同志の会話ぐらゐ〉	ヘエ".
5594. 02.	he:bü (優位)	hebü he'bi.
5594. 37.	hebi. <del>hebu</del> 2形同等 <sup>96</sup> に使う。	
5595. 20	hebü 普通	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (7)
	226		
項目名			
蛇 010			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5597. 78	ナカスケ 〈諧〉	
5605. 11	hebi (多) hebbi (古い言い方で現在も用いられる)	
5606. 83	heppe 〈希〉 (古)	hebi
5609. 26	gē~bi (ēは狭いe. iはわずかe寄り)	
5625. 91	heppi 〈古〉	
5623. 27	hembī [[hebi ヘビと言う人始る即]]	
5631. 16	he=bi 〈古〉	hebi.
5635. 48	ナガムシ 〈忌〉 <u>カゴ時</u> にヘビと言うと、オカマかいわがるから	ヘビ.
5635. 65	ヘビ (共)	
5636. 74	ナガムシ. <u>普通はヘビの名で、着る時などはながむし。信州にある。若いものにわかすな!</u>	ヘビ.

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は縦書きにする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	226		
項目名		〔B 除いた共通語〕	( 8 )
蛇 010		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5639. 13	ヘンメ 〈子供の時へ使う〉	ヘヒ"
5641. 94	he:bi 〈古〉	hebi.
5643. 33	hebi. he:bi 〈区別なく使う〉	
5644. 74	ヘヒ" (共)	
5645. 89	たかムシ 〈古. 稀〉	ヘヒ"
5646. 12.	ヘヒ" 〈ツクがネツカ〉 (絵のヘヒにはツクがない) か. じ. どうも変だ。)	
5652. 06	nayamufi 〈特別な言い方〉	hebi
5652. 81	hembo 〈古〉	hembi;
5655. 57	ヘヒ" (共)	
5657. 73	ヘヒ" (共)	



- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (9)
項目名 蛇 010			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5666. 10	ナカムシヤ 〈女〉. 74ナワ 〈輪〉	ヘビ
5666. 18	ヘビ (英)	
5669. 96	kt/inaua 〈古〉	hebi.
5671. 94.	nayamusi 〈上〉	hebi.
5677. 14	he=bi 〈老人は、いも言う〉	hebi.
5677. 28	ヘビ (箇所の内に「ヘビ」と言っているのを 言まどかたて記入したものを)	ヘビ.
5678. 86	ヘビ 〈今でも言う〉	ヘビ.
5680. 34	hembe I {ヘッベ (西野・肥後) ヒビヒ (茅川)} II {ヘッベ (西野・肥後) ヒビヒ (茅川)}	
5682. 37.	he:bi 〈普通〉	
5686. 31.	hebi ヒヨヘム - namero 青大将 - aode:fa.	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ ( / )
項目名			
蛇 010			( / )

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5686. 67	ヘビ <普通> ナカムシ <年寄りが使う>	
5687. 32	エイビ <稀> 第三者が言ってからの答え。	ヘビ
5688. 01	ヘエビ <多> ヘビ (本人はこれを使う)	
5688. 74	hebi (標準語のheではなく多々hiのように口が狭い)	
5688. 86	ナカムシ <稀?> (ナカムシと言う人も蛇石では100本以上の とあるという。被調査者の発言に第三者同感)	ヘビ
5696. 68	hebe <古>	
5720. 71	ヘエビ (ヘエは [hje] を示す)	
5741. 30	hebi <多<これを使う>	hemme.
5741. 66	hemme <多> hebume <少>	
5760. 24	Gemme <子 <sub>が</sub> を使う>	febi.

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
1	226		
項目名		B 除いた共通語	( / )
蛇 010		C 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5793. 20	ge=bi 〈昔〉	gebi.
6267. 68	ge'bi. nagamuŋ. (種数 or 5 or 16.)	
6287. 42.	hebi 〈短くて赤い〉 nagamuŋi 〈黒く大きい〉	
6287. 71	hebi 〈山から下りた種数〉 nagamuŋi 〈青大樽〉	
6338. 99	74ナオ 〈古〉	
6339. 37	74ナワ 〈古〉	he'
6348. 77	74ナオ 〈古〉 マムシ 〈希〉	he''.
6349. 09	kutŋinao 〈古. 希〉	hebi.
6349. 67	74ナオ 〈古〉	he'
6356. 98	74ナワ 〈上〉	オオムシ

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (12)
	226		
項目名			
蛇 010			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6357. 38	クナワ 〈古〉	ヘビ
6358. 43	マムシ 〈希〉 <u>【無毒のものを言う】</u>	クナワ
6359. 38	クナオ 古	ヘビ
6367. 09	マムシ 〈稀〉 <u>【無毒のものを言う】</u>	ヘビ
6383. 77	jamusi 〈今の子は sebi という〉	
6389. 22	クナオ (希)	ヘビ
6393. 41	kutjinago 〈古〉	hebi
6394. 43	ヤマシ 〈ヘビと言うのは近頃の言葉である。〉	
6395. 46	クナワ 〈古〉	
6395. 61	kutjinawa ① kutjina:	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ  (13)
	226		
項目名 蛇 010			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6397. 62.	hebi <大きな蛇のことを <u>74ナワ</u> と云う>	
6407. 28	74ナワ <丘陵の子供はへびと云う。昔は皆74ナワ。今でも大人は同じ。>	
6408. 15	74ナワ <古>	へび。
6408. 88	74ナワ <古・希>	へび
6412. 91	kutstinaama <古>	hebi
6413. 10	kutstinaama <共に言う>	
6413. 43	kutstinaama <古>	
6415. 78	kutstinaama <古・多<言う>>	
6415. 83	<del>hebi</del> kutstinaama <古・希>	
6416. 09	へび。 74ナワ。 (へび又は74ナワと云えた)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	226		
項目名		(B 除いた共通語)	(14)
蛇 010		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6416. 31	kut <sup>u</sup> sinama <古・稀>	hebi.
6417. 14	kut <sup>u</sup> sinawa <古>	
6417. 72	kut <sup>u</sup> sinawa. <74ナワとも言う。両方用いる。ヘビは新しい言い方。上層、下層の区別は別になリ>	
6418. 13	ヘビ. 74ナワ. (両称併用)	
6419. 25	74ナワ <古>	ヘビ.
6419. 50	ヘビ 74ナワ. <両称、同じに用いられる> ナガモン (希) <石の向や軒にかくい入、ヘビを追い出す時> ナガモンも追出す等と言う。	
6421. 79	kut <sup>u</sup> sinawa <古>	hebi.
6421. 82	kut <sup>u</sup> sinawa <古>	hebi ~ he'bi
6423. 75	hebi <多> kut <sup>u</sup> sinawa <古>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 226	A 普通注記	ページ
項目名 蛇 010		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(15)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6424. 20	hebi 〈昔から使う。今は自分もヘビをかなり用いる。ナカムコという人もある。〉	kutfinawa.
6424. 89	kutfinawa 湯原町皇榮 nameso:	
6426. 04	kutfinawa〔古〕〈昔はクナクナ用いたと〉	
6426. 47	kutfinawa〔古〕	hebi
6427. 93	kutfinawa〔下〕	hebi
6428. 13	クナクナ 〈古・希〉	
6428. 26	ヘビ. 〈平常はヘビと呼んだけれど、養蚕時期にはクナクナと呼んだけれど、蚕のヘビと呼ぶところもある。〉	
6428. 91	クナクナ〔古〕	
6429. 15	クナクナ〔古〕	ヘビ.

▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。

▶ その中での情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の〈 〉〔 〕は敬密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (16)
	226		
項目名			
蛇 010			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6429. 30	74ナワ 〈古・希〉	ヘビ
6429. 61	74ナワ 〈古〉	ヘビ
6435. 72	74ナワ 〈普〉	
6439. 17	kutʃina 〈昔〉	ʃebi
6441. 19	74ナオ (古)	ヘビ
6443. 03	kutʃinao [古]	hebi
6445. 11	ヘビ 〈普〉	74ナワ
6445. 57	74ナワ 〈普〉	
6446. 05	74ナワ 〈普〉	
6448. 61	ヘビ 〈新〉 〈黒川の74ナ 青大将 オナワノ〉	





▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。

▶ その中での情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (18)
	226		
項目名 蛇 010			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6456. 23.	ナメソオ (古)	74ナワ
6470. 11	kutrina <sup>wa</sup> : 〈古〉	hebi
6472. 58.	古くは 74ナワ	ヘビ
6474. 83	74ナゴ <sup>u</sup> (現在. 子供はヘビ)	
6476. 13.	74ナゴ <sup>u</sup> 〈古〉	
6476. 17	74ナ 〈古〉	
6476. 92.	74ナゴ <sup>u</sup> 〈古〉 ヘビ <sup>イ</sup> (新)	
6477. 02.	74ナ { ニロナガチ (青大蛇) リコモチ (まぐろの卵の) オラスナガチ (小蛇) シマクナチ (シマアリの卵) ヒミス (小ナガチの卵) }	
6479. 51	gedo [古]	gutrina
6481. 94	74ナオ (古)	ヘビ

▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。

▶ その中での情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 <b>226</b>	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (9)
項目名 <b>蛇 010</b>			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6482.52.	kutfinao (この国では蛇のこを nao といっている。 naotobi. hinao などもある。)	
6482.75.	kutfinago 〈黒い〉 〈白いは sakao〉	
6484.78	クナゴ この言葉にはマムシは含まれない。クナゴのクナ 青大蛇はクナマリ。シマヘビはナミカゴ。という。	
6485.82.	クナゴ この中にはマムシ(ハコ)も含まれている。クナゴの中には 1. カラスヘビ(クナセ)クナマリ(青大蛇)ナミカゴ(蛇)入込(赤い斑点のある蛇)も含まれる。〉	
6486.93	クナゴ ヤマトは家の中に巨蛇。鳥。蛇。巻いたり卵を 入れこぼりする。色もいろいろの。	
6487.43	ヘビイ この中には。青大蛇。ハミモカラスヘビもみな はいる。 クナゴ 〈古〉	
6487.66	クナゴ 〈小はこ〉 ヤマト 〈大まこ〉	
6489.01	ヘビイ 〈青年〉	クナゴ
6491.49	kutfina (海老部の大浜郡港では kutfinawa とよっている。)	hebi

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	226		
項目名		(B 除いた共通語)	
蛇 010		(C 除いた特殊語)	(20)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6494. 08	クナゴ 〈カラスクナゴ (全部が黒く、野や溝、河原に生えている) ナグサオ (から屋根の裏などにはいる大きなもの) などのものである。〉	
6494. 21	クナナ 〈古〉 ナカムシ 〈古〉	
6496. 56	hebi この言い方が多い。	jadosi
6497. 77	<del>jadosi (大)</del> kutjinawa 〈小〉 } 種類の区別はなし。 大ナゴは adaiso: とも。	
6500. 88	kutjinawa 〈希・古〉	gebi
6501. 92	クナナリ (女中のみ) ← 此にて同輩の。	へび
6512. 02	kutjinawa 〈古〉	hebi
6512. 67	kutjinawa 〈古〉	gebi
6513. 51	kutjinawa 2形同輩。 hebi	
6514. 61	he:bi 〈古〉	hebi

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A・普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ  (21)
	226		
項目名 蛇 010			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6515. 24	hebbe 〈下〉	hebi
6517. 50	ミ 〈子丑寅卯辰巳のミ〉	ヘビ、ヘンビ
6520. 79	74ナワ (古) 今では自命もあまり使われない。	ヘビ
6522. 03	74ナゴ 特には年長者のみで、今の子どもは「クナゴ」って「何ヤ」というそうである。	ヘビ
6522. 79	74ナワ (古) ・74ナワは年長者のみ。それ以外は同等の言葉のみ。	ヘビ
6523. 54	kutjinawa 〈古〉	hebi
6523. 86	kutjinawa 〈古〉	hebi
6524. 01	kutjinawa 〈古〉	hebi
6527. 22	hembe 〈古〉 〈今では小供産はよく使う〉	
6527. 73	hembi 〈古〉 〈今はもうあまり言わなくなった〉	hebi

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 1	地図番号 226	A 普通注記	ページ
項目名 蛇 010		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(22)

地点番号	A 新形とその注記〔B・C 除いた新形とその注〕	A 注のない新形〔B・C 残した新形とその注〕
6530. 58	74+ 〈古〉	へへ'
6532. 89	ミイサン 〈古〉	へへ'
6533. 31	74+ワ 〈古〉	へへ'
6534. 37	hebi 〈最も普通の言い方〉 nagamono mi: san 老人の使うもの。字がなにはおりの用いられることはある。 八日市付近では、安芸自信仰の社数に日本人が、そこに人達が使うようになった。	
6537. 58	najamusi 〈古〉 〈今では老人の中からは使うもの〉	hebi
6539. 12	hem:bi 〈兒〉	hebi
6539. 78	hembu 〈古〉 〈今では時々使う〉	
	najamusu 〈爺〉 〈おれり使わなくなった。おれり古い〉 言い方だと思ふ。	hebi
6540. 52	74+ 〈古〉	

6536.00 hebi 〈青大将のこへへ: nagusa といい。〉

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 (B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)	ページ  (23)
項目名 蛇 010			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕		A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6542. 58	74+ワ. (古)	74+〔古〕 ・24+の方か 24+より 古く来た。[303]	へ
6543. 56	74+ 〈V〉		へ
6544. 69	kutjinawa (古)		<del>hebi</del>
6546. 73.	kutjinawa hebi	昔は、身命の意。今は、hebiの方を使っている。 [303]では、kutjinawaとあった。	
6548. 82	go:mari (古)		hebi
6551. 77	kutjina (音)		
6553. 22	kutjinawa (古・老)	(被調査者の頃は 74+) がもはや用いられていた。	
6553. 47	kutjinawa (古)		
6553. 99	kutjinawa (古)		
6554. 08	74+ワ (老人が用いる)		へ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	226	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(24)
蛇 010			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6556. 60	74+7 <古>	へび
6557. 54	kutfinawa <古> <昔無人がよく使った>	hebi.
6558. 09	hebi. } nagamuf. } go=mati <古> }	
	{ hebiとかnagamuf'というのが通利がよい。 16L. 若いものはnagamuf'というのは少 ない。子供の時分はgo=matiと いったが、今は4は使わないと思う。	
6558. 10	go=mati <古>	hebi
6560. 40	74+ <古>	<del>へび</del> <昔>
6562. 22	74+ <古>	
6562. 48	74+ <古> (子供の時分に言った=とあるが、今は) いわぬ、と。	へび
6563. 58	kutfinawa <古>	



- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号	地図番号 <b>226</b>	4 普通注記	ページ (25)
項目名 蛇 010		[B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6564. 33	kutjinawa (<フジに口があるからF>という語源を説明した。)	
6564. 51	kutjinawa <多>	
6565. 09	kutjinawa <多>	
6565. 56	nagamufi <多>	kutjinawa.
6567. 79	kutjina <古からのことは>	hebi.
6572. 04	kutjina <多> mi:sara <少、信仰的に使う>	
6572. 55	kutjinawa <古>	hebi
6573. 71	kutjina <古>	hebi
6574. 06	kutjinawa <ヘビは学校で習ったもので使わぬ>	
6577. 13	kutjinawa <昔は川が多かった>	hebi

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	226	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(26)
蛇 010			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6580. 06	クナワ 〈古〉	ヘビ
6583. 19	kut'nawa 〈古〉	
6583. 41	kut'i nawa 〈古〉	
6587. 42	マニ 〈ヘビとは学校で教えることは"である"〉	
6595. 32	クナワ 〈昔はクナワ〉	ヘビ
6600. 97	hembe 〈古〉	hebi
6609. 05	ヘビ (古)	ヘビ
6620. 49	hen be (昔の人)	hebi.
6628. 23	[he:bi] 場合によって	hebi.
6628. 39	hebi [三浦半島の著名学者 赤星正忠氏の発言。 市及大津では [hc:bi]	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号	地図番号 <b>226</b>	A 普通注記	ページ
項目名 蛇 010		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(27)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6630. 43	xembi [9]よりあてである。	
6639. 43	hebi (eは狭くて前寄り)	
6667. 81	hebi <del>いび</del> <del>いび</del> ある時期にイビを絞って 縮減させた。	
6697. 39	hebi <いび>	
6697. 49	hebi <いび>	
6697. 59	hebi <いび>	
6698. 61	gebi <いび>	
6701. 46	nagamusi <舌>	hebi.
7218. 58	nagamusi 縞蛇 KO=ra=no: 屋敷の主とは区別 黒い蛇 kurota.	
7238. 40	nagamusi <舌>	kut/inawa.

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ 中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	226		
項目名		〔B 除いた共通語〕	
蛇 010		〔C 除いた特殊語〕	(28)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7239. 29	hebi (町方ではクナワ)	
7239. 41	egutfinawa (青甲帯がなく、白い帯の蛇とクナワ) (というよし)	kutfinawa.
7246. 45	kut <sup>a</sup> nawa □ = 破格的な録音。	
7266. 60	nagamusi (ga はや > 鼻音化 (というよう) = "oi. nja) (と表示する程ではない)	
748. 49	kutso <子>	kutfinawa.
7309. 37	kutfinawa <古>	hebi
7322. 81	kutfinawa (子)	hebi
7323. 17	kutfinawa (老)	
7323. 84	hebi (多)	kutfinawa.
7324. 47	hebi (クナワと云われと云ふ。)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	226	〔B 除いた共通語〕	
項目名		〔C 除いた特殊語〕	(29)
蛇 010			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7326. 41	ʒebé éはやや狭いe.	
7335. 19	hebe 〈古〉	hebj.
7336. 54	xebje 〈古〉	xebj†
7344. 45	hebe (はじめへべと答へ、その自分で訂正)	
7345. 47	hebe 〈古〉	hebj.
7349. 07	hebi (kutjinawo という人もあり)	
7350. 96	74+7. kutjinawa 〈ヒキタイヒ、 <sup>32年1月</sup> EE74+7なヒの別が ある。〉	
7354. 23	ʒebí 〈新〉	hebe.
7361. 17	ヒヒヒ 〈共・新〉	74+7.
7362. 67	ヒヒヒ 〈共・新〉	74+7

- ▶ A・〔B〕・〔C〕などに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	226		
項目名		B 除いた共通語	
蛇 010		C 除いた特殊語	(30)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7363 85	74ナワ、ヒエヒ <sup>ニ</sup> 。 {共に53から使う}	
7364. 34	ヒエヒ <sup>ニ</sup> 〈74ナワとは云わぬ〉	
7373 23	ヘエヒ <sup>ニ</sup> 〈新〉	74ナワ
7373. 56	ヒエヒ <sup>ニ</sup> 〈74ナワのこほをヒエヒ <sup>ニ</sup> と云い出す〉	74ナワ
7373. 92	ヒエヒ <sup>ニ</sup> 74ナワ 〈?〉 〈両方の新語については、日野のこほなり。 74ナワはヒエヒ <sup>ニ</sup> の大きいおほいよに「か」が、確信はない〉	
7373. 99	ヘヒ <sup>ニ</sup> 〈74ナワとは云わぬ〉	
7374. 15	ヘヒ <sup>ニ</sup> (74ナワとは云わぬ)	
7381 97	ヘエヒ <sup>ニ</sup> (74ナワは使わぬ)	
7382. 97	ヘヒ <sup>ニ</sup> 74ナワは使わぬ	
7383. 98	ヘヒ <sup>ニ</sup> {古くからのこほ} 74ナワ 〈希〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	226		
項目名		B 除いた共通語	(31)
蛇 010		C 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7390. 26	h'ebi 〈共〉	74ナワ
7391. 94	へビ [h'ebi] 〈74ナワとは云わぬ〉	
7404. 56	kutfina 〈年寄り〉	
7405. 85	ナカムシ. 74ナ. へビ. ↑74ナも同じように使う。特殊な区別はない。	
7406. 53	ʒebi 〈多〉	nagamusi.
7425. 02	nāgana: (産)	hebi.
7421. 38	hebi [地域内には he <sup>m</sup> bi と鼻音化 (ていじく <sup>スル</sup> あり) (aodaiʒo: は enjimoɔda na) と云って、41)	
7421. 62	hebi (2時になると 蛇 となして人の話をした。)	
7427. 96	ʒebi 〈農家の人は gutfina といふ〉	
7440. 69	hebi. (kutfinawa. bo:ja:ʒi. ja:ʒi といふ人もある。 (bo:ja:ʒi といふのは大て。ちい家か土蔵の中は 1120) (資料 30))	
7392. 33.	へビ (74ナワとは云わぬ)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	226	〔B 除いた共通語〕	
項目名		〔C 除いた特殊語〕	(32)
蛇 010			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7440. 72	hebi (ja:zi といふ人もあり)	
7441. 89	kutgina: 〈古〉	hebi
7451. 77	kutginawa 〈古〉	hebi
7500. 43	74ナワ 〈古〉	74ナワ
7502. 22	kutfinawa (小又川・(竜神)よりkm程度) 20	
7513. 15	kutjinawa (totjwara といふ名が2つ) 且 今でも昔は在足しと くわえないものな。なせなら、totjwaraの口から 来て、在足をやろうと言ったからだといふ。	
7513. 69	74ナ 〈多々〉	74ナワ
7522. 48	74ナワ (最近少なくなったが昔は用いた) 74ナワ (死人が用いた)	
7523. 05	74ナワ (ていねいに言うとき)。	74ナ
7523. 30	74ナワ 〈希〉	74ナワ



- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。  
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。  
 ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ  (33)
	226		
項目名 蛇 010			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8300. 25	qebi < <u>kuɬinawa</u> は青木海 >	
8301. 19	へエエ (74ナワとはなわなん)	
8302. 55	<del>へエエ</del> クツナワヘエ <希>	へエエ
8311. 41	hebi < hebe という人もある >	
8313. 72	het (hebi の末尾の入声化)	
8313. 88	het (語中、語尾の E は入声成は、声門閉鎖音 の発音より故へエは het となる)	
8324. 83	hebi (洋文に言うとは hebi と言うが之になる he he) het. (直之、日常会話では het が多いと思う。)	
8330. 58	he be <希>	het.
8332. 59	het (新しい答)	
8352. 92	mufi <多> (種類の多さに 通いの名 karagez 白川 E <u>kuɬna</u> とは >	qez.

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ (34)
項目名 蛇 010		[B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
8360. 39	het <神. 新>	musi
0237. 79	habu. <この語でマダガスカル> [madzimumu]	
0238. 55	N.R. <総称なし> ✓	
0246. 48	N.R. <総称なし> ✓	
0246. 97	N.R. <総称なし> ✓	
0247. 56	N.R. <↔> ✓	
0248. 00	合上. _____ ✓	
0249. 17	N.R. <総称なし> (matbafa: matbabu) (と答えたR. 11の4は種数合計9%) ✓	
0265. 95	N.R. <総称なし. 種類別にあり> ✓	
0295. 97	N.R. <総称なし> ✓	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ 中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕〔 〕は厳密にする。

買回番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	226		
項目名		〔B 除いた共通語〕	(35)
蛇 010		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
0276. 50	awonugja <蛇は青大将の意味であったか> 総称はなし。	
1148. 59	✓総称なし. ma: akamata (無毒) } 蛇はハブは onandza: (無毒) } いない。	
1156. 89	✓<総称はなし. 毒蛇は habu ふう>	
1167. 01	N.R. 総称はなし. ✓	
1169. 84	(?) habu <蛇は毒蛇のこゝは総称はなし。> <総称はハブと、ハブは毒蛇のこゝに、別々に呼ぶかと思ふ。>	
1211. 69	総称なし. ✓ 有毒 hatfama: habu. firumikkwa. 無毒 { o: nadza: akamata. sa: ka: fi: fu: o: nadza:	
1213. 76	ハブは似て。毒蛇はハブに mattabu ふうと 総称はなし. ✓	
1221. 47	総称なし. ✓ 有毒 he: dzara fu: ifibutuka: 無毒 abama <del>fi: fu: a</del>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	226		
項目名		B 除いた共通語	(36)
蛇 010		C 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
1223. 91.	<del>habu (毒蛇)</del> (habuは毒蛇のこと、総称はた) ✓ ✓総称はた。毒蛇には habu	
1231. 72.	青大将は zo nadzi. 毒蛇のことは いま 352 madzimuN. といい。	
1231. 88	へびの総称はた ✓	
1232. 29	<del>habu (総称はた)</del> (毒蛇のこと。zo:naga:青大将。) 中々、存在が有り、短く、太い蛇 mo:zumagi <琉球青蛇> garafiki:ba: <おさけは> akamata <あかまた>	
1232. 75	✓総称はた。habu (毒蛇) 有毒。 ✓総称はた。habu 有毒。	
1233. 61.	akamata. 無毒。garafiki:ba: " } あり。 o:naga 無毒	
1241. 05.	へびは総称はた ✓ 毒蛇は habu {カマ ak'amata: カマ garafiki:p'a: 青大将。o:nadza:	
1241. 49	総称はた ✓ 毒蛇は pawu.	
1241. 96	総称はた ✓ 毒蛇は habu (青大将は o:nadza:)	

▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。

▶ その中の情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	226		
項目名		(B 除いた共通語)	(37)
蛇 010		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
1242. 00	<u>P'abu:</u> (毒蛇・総称はない) ✓	
1242. 22	総称はない。 (毒蛇は <u>habu</u> 青大将は <u>mo:io:nugja</u> )	
1242. 26	✓ 総称はない。 <u>habu.</u> akamata: o:naza: garafin <u>bu:</u>	
1242. 72	✓ 同上。 <del>habu.</del> nanapufi. akamata: o:nagya: garahappe: ㇿゝゝゝ	
1250. 59	<u>habu</u> (毒蛇) (総称はない) ✓	
1251. 04	総称はない。 ✓ <u>habu.</u> o:naza: akamutada: garapi:pa ㇿゝゝゝ	
1251. 27	✓ 同上 ✓ <u>habu.</u> o:naza. mattamba. (akamata:ㇿゝゝ)	
1251. 73	<u>habu</u> (毒蛇のㇿ) (心の総称はない) ✓	
1251. 98	総称はない。 ✓ <u>habu</u> (毒蛇)	
1260. 78	同上 ✓ <u>+</u>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	226	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(38)
蛇 010			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
1260. 87	<u>habu</u> 〈毒蛇〉 (総称は <u>habu</u> ). ✓	
1261. 01	✓ 総称は <u>habu</u> akamata: garafi:ba:	
1261. 16	✓ 総称は <u>habu</u> akabata: o:naadja: takanukamatfigwa: 有毒.	
1261. 32	<u>habu</u> 毒蛇で総称は <u>habu</u> . ✓ 青大将は o:innaza:	
1261. 70	総称は <u>habu</u> <u>habugwa</u> : akamata: <u>si:ba-</u> かいう.	
1261. 80	<u>habu</u> 〈毒蛇〉 (ハビの総称は <u>habu</u> ). ✓	
1270. 26	ハビの総称は <u>habu</u> . ✓ 毒蛇は <u>habu</u> .	
1270. 27	<u>habu</u> 〈毒蛇の意〉 (総称は <u>habu</u> ). ✓ 青大将 <u>innaza</u> : 又は <u>si:ba</u> :	
1271. 05	✓ 総称は <u>habu</u> akamata: o:naadja: } の2種かいう.	
1271. 20	✓ 総称は <u>habu</u> 毒蛇は <u>habu</u> 青大将は <u>si:ba</u> : かいう.	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号	地図番号 <b>226</b>	A 普通注記	ページ
項目名 <b>蛇 010</b>		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(39)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
2067. 52.	<総称なし> ma:munuhabu awunazu tukara: garasa:	
2068. 08	P'o: 蛇類の総称.	
2072. 20	<総称なし> tugara: <青大将> agatugara <赤い蛇の意> <毒蛇は いなし.>	
2074. 69	pabu <毒蛇は ma:pabu>	
2075. 22	pabu <毒蛇は ma:pabu>	
2076. 96	habu <毒蛇は ma:habu. 又は ma:munu 青大将は aunazi:habu. 又は ma:habu pabukun>	
2076. 05	総称はなし. <aunatsi 青大将. hakarame 毒蛇>	
2076. 98	habu <青大将は aunazi>	
2085. 69	pa) <青大将は aunazi>	
2086. 03	habu <毒蛇は ma:habu>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > ( ) [ ] は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ  ( / )
	226		
項目名			
蛇 010			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
0894.61	zonoroŋi <昔>	Xe <sup>m</sup> bi
2617.68	アオロシ	ヘ
◦ 3760.93	*he~bi <青大樽は aosaŋa>	φe~bi
◦ 4685.28	hebi (共)	hembibi
◦ 4686.96	hebi <共>	hembibi <名>
4689.86	nameragebi <sup>β</sup> <0116ア+bi(z)>	φeβbi
◦ 4716.72	hebi <新>	he=bi <古>
◦ 5548.35	tasuki <"ア=エは">	he=bi naga <"ア=エは">
5557.48	dza <古>	hebu
◦ 5567.46	ヘ	ヘ



- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	226	〔B 除いた共通語〕	
項目名		〔C 除いた特殊語〕	(2)
蛇 010			


地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5568. 22.	ヘビ 〈共〉	ヘンビ
5569. 36	ヘビ 〈共〉	ヘンベ
5577. 88	ヘビ 〈新〉	ヘンビ
5578. 27	ヘビ 〈呉〉	ヘンベ
5579. 10	ヘビ 〈上〉	ヘンベ
5587. 74	ヘビ 〈改〉	ヘンビ
5595. 20	hebi	hebai 普通
5595. 89	ヘビ 〈呉〉	ヘンビ
5597. 78	ヘビ 〈呉〉	ナガスチ 〈語〉
5598. 67	ヘビ 〈呉〉	ヘンビ

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	226		
項目名		〔B 除いた共通語〕	
蛇 010		〔C 除いた特殊語〕	(3)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5599. 75	ヘビ 〈共〉	ヘンビ
5615. 28	hebi (新)	hebbe.
5615. 65	hebi 〈共〉	hebbi.
5615. 78	hebi 〈上〉	heTbi.
5625. 91	hebi 〈新〉	heppi 〈古〉
5631. 75	hebi 〈共〉 〈隣接の上水内郡では hereと言う人があゝ〉	he=bi.
5641. 07	hebi 〈共〉	he=bi.
5652. 81	hebi 〈共〉	hembo 〈古〉 hembu
5653. 08	hebi 〈共〉	he=bi
5663. 09	hebi 新	he=bi

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号		ページ
項目名			
蛇 010		(4)	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5664.51	hebi 〈正しく言はは〉	he:bi
5671.36	hebi 〈新〉	hembī
5674.54	hebi 〈共〉	he:bi
5682.37	hebi 〈共〉	he:bi 〈普通〉
5683.61	へて 〈共〉	へて
5690.12	hebi 〈新〉	hembē
5690.27	hebi 〈共・希〉	hembī
5698.91	xebi 〈教科書のこヒは〉	xe:bi
5696.68	hebi 〈共〉	hebe 〈古〉
6277.62	hebi 〈hebi は 赤い蛇〉	nagamūji

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	226	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(5)
蛇 010			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6296. 27	hebi <新>	nagamusi
6338. 99	ヘビ <新>	クナナオ <古>
6366. 16	hebi <新>	Omusi
6384. 25	hebi <新>	Kutfinawa.
6407. 28	ヘビ <子>	クナナワ 〔逆読み子はヘビと11音、昔はクナナワ、天久は今と別。〕
6407. 43	ヘビ <新・共>	クナナワ
6413. 10	hebi <新>	Kutfinawa. <片に言ふ>
6413. 43	hebi <新・多>	Kutfinawa <古>
6414. 17	hebi <新・多>	Kutfinawa.
6415. 23	hebi <新>	Kutfinawa

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	226	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(6)
蛇 010			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6415. 78	hebi 〈上〉	kutjinawa 〈古・多言〉
6415. 80	hebi 〔新・多〕	kutsumawa.
6415. 83	hebi 〔新〕 〈多(用)用3〉	kutjinawa 〈古・希〉
6417. 14	hebi 〔新・多〕	kutjinawa 〈古〉
6417. 72	hebi 〔新〕	kutjinawa. 〈65語. 両方 用3. 上名下名の区別はなし〉
6426. 04	hebi 〔新〕	kutjinawa 〔古〕 〈古は7417のみ用3と11〉
6427. 40	hebi 〔新. 学校で習った語〕	kutjinawa.
6428. 13	hebi 〈今〉	kutjinawa. 〈古・希〉
6428. 91	ヘビ 〔新〕	7417 〈古〉
6429. 65	ヘビ 〔新・共〕	7417

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 <b>226</b>	A 普通注記	ページ
項目名 <b>蛇 010</b>		B 除いた共通語	
		C 除いた特殊語	(7)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6435-72	ヘビ 〈ナ〉	クナワ〈善〉
6437-07	ヘビ 〈新・子〉	クナワ.
6437-94	ヘビ 〈新・共・希〉	クナワ
6438-33	ヘビ 〈新・共・希〉	クナワ.
6439-77	ヘビ 〈新〉	クツナ
6445-57	#? へビ 〈希〉	!クナワ 〈普通〉
6446-05	ヘビ 〈希〉	クナワ 〈善〉
6449-33	ヘビ 〈新〉	クツナ
6453-59	ヘビ 〈大きいもの. 見世物に可ぶようなもの〉	クナワ 〈普通のスヨヨの蛇〉
6454-24	ヘビ 〈希〉	クナワ〈善〉

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

頁間番号	地図番号	A 普通注記	ページ (8)
	226	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	
蛇 010			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6457. 18	ヘビ〈新〉	クナナ
6458. 26	ヘビ〈新・共・希〉	クナナ.
6458. 40	ヘビ〈新〉. ナガイ.	クナナ
6464. 90	ヘビ〈新〉	クナナワ
6469. 77	ヘビ〈共〉	クナナ
6476. 13	ヘビ〈新〉	クナナコ〈古〉
6476. 17	ヘビ〈新〉	クナナ〈古〉
6479. 51	nagaio	<del>gedo</del> gedo 〔2〕 gutfina.
6484. 43	ナミサオ〈鱧 蛇 蛇 春のほとの大蛇のをいう。〉	クナナオ
6486. 93.	ヘビ. 〈共〉	クナナコ〈ナトニは家の中に住む にわとりを巻いたり卵を腹に入れて とあるもの。〉

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は要密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	226	〔B 除いた共通語〕	
項目名		〔C 除いた特殊語〕	(9)
蛇 010			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6492. 11	hebi 〈上〉	kutsina
6494. 21	ヘビ 〈新〉	クナナ 〈古〉 ナカニ 〈古〉
6506. 55	ヘビ 〈共〉	ヘンビ
6507. 48	ヘビ 〈共〉	ヘンビ
6507. 79	ヘビ 〈共〉 (総称) シラウシ [筋の管に入ったヘビ] ナヘロ 〈ヤシに付くヘビ〉	ヘンビ (総称)
6509. 38	ヘビ 〈共〉	ヘンビ
<del>6512. 02.</del>	<del>kutsinawa 〈古〉</del>	
6517. 65	ヘビ 〈共〉	ヘンビ
6520. 94	ヘビ 〈共〉	クナナ
6521. 94	ヘビ 〈新〉	クナナ



- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。  
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。  
 ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ (10)
項目名 蛇 010		B 除いた共通語 C 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6522. 37	ヘビ 〈新〉	クナナオ
6526. 98	クナナワ 〈他〉	ヘビ ヘンビ
6527. 22	hebi 〈新〉	hembe 〈古〉 〈今でも子供達がよく使う〉
6529. 15	ヘビ 〈共〉	ヘンビ
6534. 37	nuſi	hebi 〈19世紀の語形〉 hagāmono. 〈先人の使う物。実用物〉 mi:saſa. 〈19世紀の語形〉
6538. 46	hebi 〈新〉	kuſiſinawa.
6540. 52	ヘビ 〈新〉	クナナ 〈古〉
6541. 52	ヘビ 〈新〉	クナナ
6544. 69	hebi 〈新〉	kuſiſinawa 〈古〉
6547. 79	hebi 〈新〉	kuſiſinawa
6536. 68.	zodaiſo: (大蛇)	hebi (大蛇) <sup>ニワカ別12</sup> (種数と関係ない。)

▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。

▶ その中での情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 226	A 普通注記	ページ
項目名 蛇 010		(B 除いた共通語)	(11)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6551. 20	ヘビ 〈新〉	74+
6551. 77	hebi 〈今〉	kutfina 〈昔〉
6553. 22	hebi 〈新・若〉	kutfinawa. 〈古・若〉
6553. 47	hebi 〈新〉	kutfinawa 〈古〉
6553. 83	〈nuru.nuru〉〔子〕	kutfina
6553. 99	hebi 〈新〉	kutfinawa 〈古〉
6560 40	<del>ヘビ</del> ヘビ 〈共〉	74+ 〈古〉
6563. 58	hebi 〈新〉	kutfinawa 〈古〉
6564. 51	hebi 〈少〉	kutfinawa 〈多〉
6565. 09	hebi 〈少〉	kutfinawa 〈多〉

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	226	[B 除いた共通語]	
項目名		[C 除いた特殊語]	(12)
蛇 010			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6570. 89	ハヒ<新>	ク4ナ
6572. 22	ハヒ<希>	ク4ナ.
6577. 71	Gebi<共>	kut/inawa.
6581. 52	ハヒ<新>	ク4ナ
6582 73	ハヒ<共>	ク4ナ
6583. 19	hebi<新>	kut/inawa<古>
6583. 41	hebi<新>	kut/inawa<古>
<del>6587. 42</del>	<del>マヒ (ハヒとは学校で教(マヒ)はマヒである)</del>	
6592. 10	ハヒ<共>	ク4ナ
6620. 20	ハヒ<共>	ハヒ.

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ (13)
項目名 蛇 010		〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特異語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6625. 17	hebi 希	hebe
6633. 27	hebi 新	he=bi
6642. 33	hebi 希	he=bi
7323. 17	<del>kutjinawa (希)</del> hebi (今子然)	<del>hebi (希)</del> kutjinawa (希)
7329. 57	hebi 上.	kutjinawa
7336. 71	hebi 〈新〉	hebe
7372. 27	へヒ 〈共.子〉	74+7
7390. 75	jek <sup>N</sup> nawa	74+7
7391. 94	ヘズミトリ	he= 〈hebi〉 〈74+7とはズミトリ〉
7400. 11	hebi 新	kutjinawa

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	226	〔B 除いた共通語〕	
項目名		〔C 除いた特殊語〕	(14)
蛇 010			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7400. 15	hebi 〈現在はこれが多く使われている〉	kutʃinawa.
7401. 25	hebi 共.	nagamusi
7402. 42.	hebi 〈上〉 (hebi は 〈気取って言う時〉と説明していた)	kutʃina.
7403. 21	hebi 〈共〉	kutʃina
7403. 86	hebi 新.	kutʃina.
7404. 12.	hebi 〈新. 共〉 〈近ごろは少し改まった物言いの時にはこういう。〉	kutʃina.
7404. 56	hebi. 〈若い人〉	kutʃina. 〈年上り〉
7411. 27	hebi 上.	he <sup>m</sup> bi.
7411. 61	hebi 〈上〉	he:bi
7418. 07	ʃinomemezū	gutʃina. jadoʃi
7430. 75	hebi 上.	naga. kutʃinao.

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 226	A 普通注記	ページ (15)
項目名 蛇 010		B 除いた共通語 C 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
7431. 13	hebi (新)	kutsinawa.
7431. 82	hebi (新)	kutjinawa.
7450. 20	hebi (上)	kutjinawa.
7461. 23	hebi (共)	kutjime.
7501. 72	ヘビ (共)	ク477
7504. 64	kutjinawa	kutjina.
7513. 01	ヘビ (新)	ク477.
7514. 21	hebi (共)	kutjina.
7521. 16	ヘビ (共)	ク477
7521. 79	ヘビ (共)	ク477.

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 <b>226</b>	A 普通注記	ページ
項目名 <b>蛇 010</b>		[B 除いた共通語]	(16)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7522. 48	ヘビ <多>	クナワ <最近やなくなつたが「 <sup>ア</sup> は <sup>イ</sup> いた。>
7523. 30	ヘビ <共>	クナワ <ア人が用く> クナワ <名> クナワ.
7533. 11	ヘビ <共>	クナワ.
8332. 59	hebi (ア <sup>ア</sup> ア)	het (新い <sup>ア</sup> )
0247. 31	itarufa = muru	habu